

2026年度名古屋大学HPC計算科学連携研究プロジェクト 課題申請補助資料 **利用ポイントの考え方**

「不老・式」ではサブシステムによって異なる計算式で算出される**ポイント**を消費してシステムを利用いただいています。計算式と目安を示しますので申請時に活用してください。

消費されるポイントの計算方法

- Type I サブシステム
 - 利用ノード数 × 経過時間[s] × 0.034 (1時間あたりノード数 × 122.4ポイント)
- Type II サブシステム
 - 利用GPU数 × 経過時間[s] × 0.022 (1時間あたりGPU数 × 79.2ポイント)
 - 実際に使ったGPUの数ではなく、ジョブ起動時に占有したGPUの数で計算されます (1ノードを使うと4GPU扱いで消費されます)
- ストレージ
 - 5TBを超えた分について、1GBにつき1日あたり0.01ポイント

1万ポイントでどれだけ使えるか

- Type I サブシステム
 - $10,000/122.4=81.70$ 時間=3.40日/ノード
- Type II サブシステム
 - $10,000/79.2=126.26$ 時間=5.26日/GPU（ノードあたり4GPUのため1.31日/ノードに相当）
- ストレージ（5TBを超えた分だけが対象）
 - $10,000/0.01=1,000,000$ 時間=41,666.66日/GB（41.66日/TB）
 - 1GBのデータを1年（保守等を考慮して実質350日と仮定）置き続けると3.5ポイント、1万ポイントあれば2,857GB追加で置き続けられる